

日本まんなか湖国の家 2017 共通ルール

【長寿命型】【高度省エネ型】 共通

- ① パッシブデザインを必須(下記、いずれか一つ以上)
【集熱・熱移動・蓄熱・通風・採涼・排熱・日射遮蔽・断熱気密】
- ② サッシについて南側は断熱型を推奨し、その他遮蔽型を必須とする。
- ③ 雨水タンクもしくは格子、弁柄のうち一つ以上を設置
- ④ 信楽焼きを必須(左記、いずれか一つ以上) 【手洗鉢、傘立、室内照明、室外照明、花器、水鉢、水琴】
- ⑤ HEMS もしくは HEMS 併用分電盤の設置
- ⑥ 一般社団法人 JBN が編集した「木造住宅工事管理の実務」に沿った施工
- ⑦ 住宅履歴情報として JBN「いえもり・かるて」に蓄積
- ⑧ 住まい手に対し「JBN 住まいの管理手帳」を使い住宅のお手入れの仕方を説明
- ⑨ 瑕疵保険について「重要事項説明」として説明を義務づけ、施主の信頼向上を図る
- ⑩ 「日本まんなか湖国の家 2017」仕様研修会の受講
- ⑪ 省エネ技術講習会(設計もしくは施工)の受講
- ⑫ 柱、梁、桁、土台において国内・国外合法木材 or びわ湖材を 50%以上利用
- ⑬ 当グループ構成員による製材出荷時含水率 25%以下の製品を使用
- ⑭ 「和の住まいのすすめ」を住まい手に渡す

【高度省エネ型】～ゼロ・エネルギー住宅～

■ゼロエネ住宅(5地域、6地域)

エネルギー削減率

5地域…全体(R)104%以上、太陽光を除く(R0)30%以上

6地域…全体(R)104%以上、太陽光を除く(R0)30%以上

※平成28年省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法に準じた評価方法による

★BELSによる認定を必須とする

★UA値0.6以下を必須とする

★ランクアップ外皮(5地域:UA値0.4以下/6地域:UA値0.5以下)を推奨する。